

地域の会 質問・意見書

日付：2021年12月14日

氏名： 宮崎 孝司

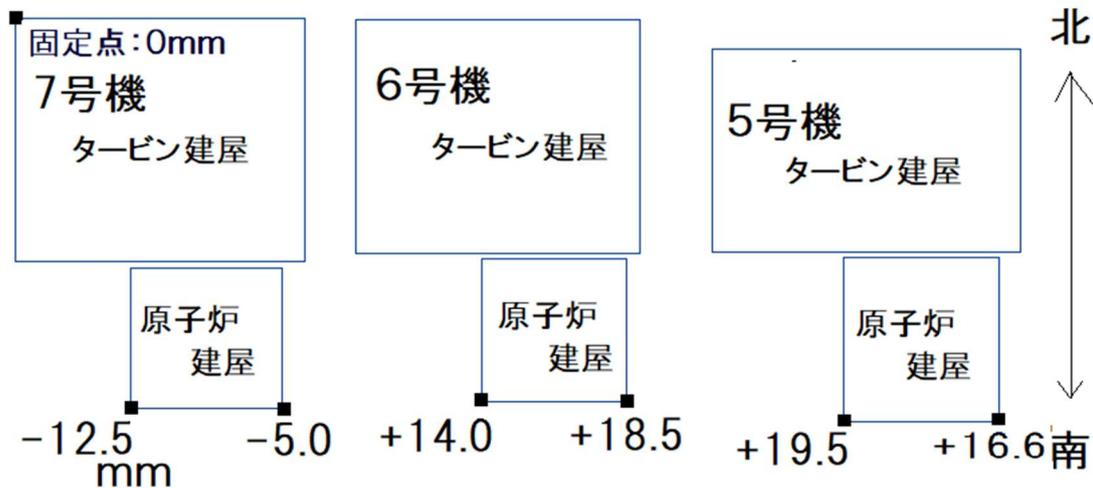
東京電力

に対する **質問** ・ 意見 (いずれか○)

質問1 6号機大物搬入建屋の基礎杭の損傷について

- (1) 鉄筋が切れたり、曲がったりしていましたが、側面が滑らかで膨らむような現象はなかったのでしょうか。
- (2) 同じく鉄筋の状況から杭の上面に割れや膨らむということはなかったのでしょうか。
- (3) 6号機には、V系断層とF系断層が交差していますが、それぞれの断層にずれはなかったのでしょうか。
- (4) 中越沖地震の際、各建屋レベルの変動が記録されています。大物搬入口に近い原子炉建屋南辺の東西角の変動を見ると7号機は沈降し、6、5号機は隆起しています。杭の損傷は、地震の上下動によるのではないのでしょうか。調査中とは思いますが、検討していますか。

資料;平成19年11月7日「柏崎刈羽原子力発電所の新潟県中越沖地震を踏まえた地質・地盤調査計画及び現在の状況について」P21 建屋レベル変動図(5-7号機側) 暫定版より



- (5) 規制基準適合性審査は6、7号機ともに「合格」しましたが、現在、工事計画認可申請は7号機に限られています。6号機の工事計画認可を遅らせたのは、今回の杭の損傷と関係がありますか。
- (6) 6号機の工事は、東京電力と東芝エネルギーシステム社と共同会社を作って行うことになりましたが、杭の損傷以上に、東京電力だけでは対処できない課題・対策が6号機にあるからでしょうか。

質問 2 フィルターベントの地盤改良についてお聞きします。

(1) 7号機の大型搬入建屋は、20mもの杭を西山層に着けて、杭の周りをセメント改良土で囲むと聞きました。これまでの古安田層では液状化する可能性があるとして改良するわけですか。

フィルターベントの改良では、基礎杭は長さ 30m, 周りは液状化層の古安田層と新期砂層です。その液状化層を幅 10m 四方のセメント改良土で囲むと聞きました。

フィルターベントの周りの古安田層の広さはどれくらいですか。

(2) フィルターベントからセメント改良土まで、どれくらいの距離がとられていますか。

(3) 鉛直方向の地震動に対しても、耐えられるようになっていると思いますが、どのような対策ですか。

以上